

平成2年2月号
 (通巻番号 NO.26)
 発行 桜木公民館
 徳山市城ヶ丘2-4-21
 Tel. (0834) 28-5973

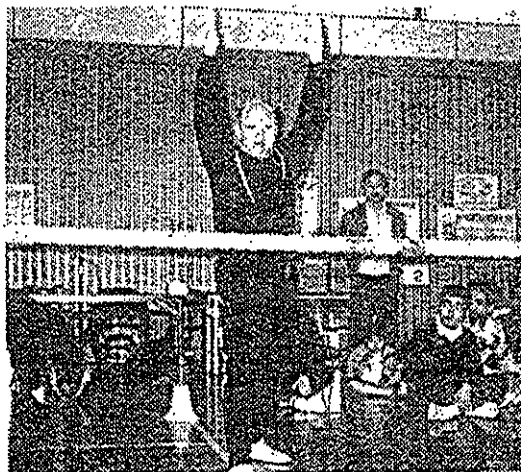


桜木地区・延田記念の日奉祝行事 ふれあい自治会対抗綱引きリーグ戦

前夜来の雨のため、桜木伝統の「エースマン・ドッジボール」ゲームに替えて、地区内11自治会対抗の綱引きリーグ戦が実施されました。各自治会から選抜された精鋭は監督以下四百名、更に、熱烈多数の自治会応援者、主管の体振関係者等々総勢六百余名が、熱狂と歓声のうちに、ふれあいの奉祝行事を終了しました。



② ← → ③

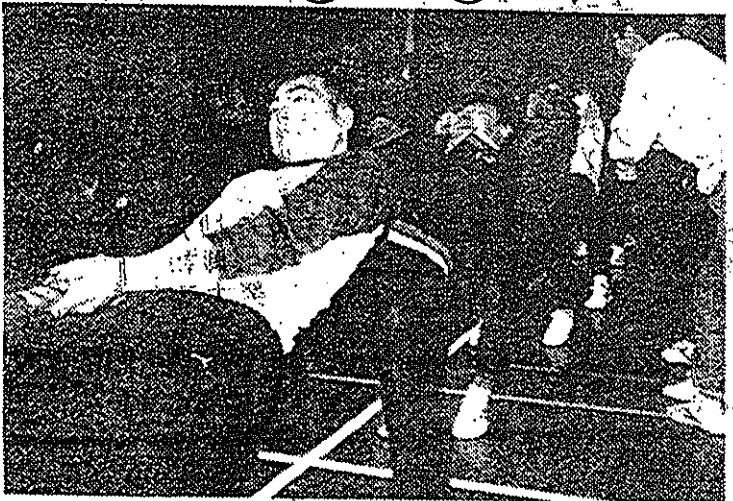


① ↑ ↓ ④

成績

★成人の部
 優勝・城ヶ丘3丁目
 2位・城ヶ丘4丁目
 3位・桜木2丁目

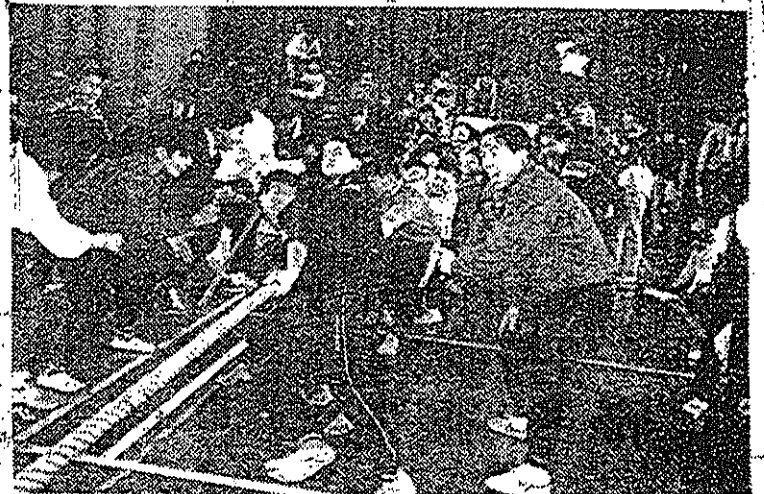
★子供の部
 優勝・市住第2
 2位・桜木1丁目
 3位・城ヶ丘5丁目



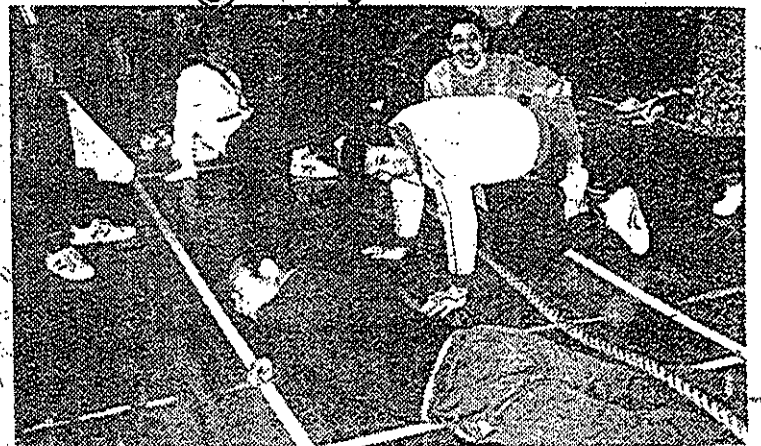
⑤ ↓

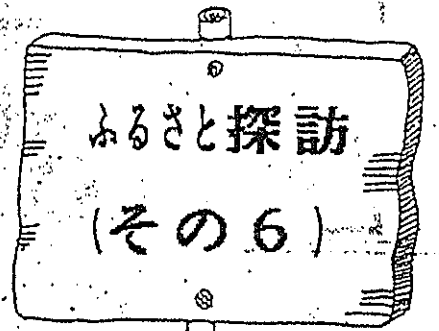
写真説明

① よういっしょ
 ② 熱戦の会場スナップ
 ③ 激戦の子供チーム
 ④ 俺はもうダメ
 ⑤ それ引つ張れ



⑥ ↓





「その4」(馬屋集落の起源・平成元年12月号)の継続であり、「その5」(平成2年1月号)からの続きとなります

四馬屋の御田頭幸

こでんどう

下馬屋の御田頭幸は、明治三十一年から権現様を中心にして始まったようである。これは、下馬屋の山本三郎氏宅に残っている記録帳に、毎年三人の御田頭幸世話人の名前が記載されていることから推定されるものである。古老の話では「上・下馬屋合同で行われていた」ということである。

御田頭幸は、毎年、田植え後の土落(どろおとし)の行事が終わった後七月十七日に行われていたということである。青田祈禱とも言うこの行事は、災害や病害虫を防ぎ、五穀豊穡を祈念する祭祀であった。

当年の世話人は、午前中に、社殿境内の清掃・御供物の準備・餅つき御旅所の設置・御神幸用具の準備等大変な仕事を仕切ったのである。

御神幸用具は次のようなものである。

- ① 幟(のぼり) 赤・青・黄・白・紫 緑・桃の各色の布を、幅三〇センチ、長さ一五〇センチ位にして竹竿の先に縛り付けた物である。

幟は、昔から四神旗を言っていて、白・赤・黒・紫の四色であった。と神本先生は話されていた。

四神旗と言えば、東西南北の四方の神の色、更に、大相撲の四本柱の総(き)色が想起されたのである。

② 太鼓(たいこ) 胴についている金具に棒を差し込み、二人で担ぐようにして、御田頭幸の時は、太鼓を叩く人も一緒に歩いた。

③ 潮汲み(しおくみ) 漆塗りの手桶に紐を取り付け、棒を通して二人で担ぎ、手桶には棒の枝を入れた。

④ 金色の御幣(ごへい) 特別の限られた人が持つてあるいた(特別の人とは、その頃一等株と考えられた有力者であった。)

⑤ 神輿(みこし) 担ぎ棒を二本差し込んで、四人で担ぐようにし、行列では交替要員がついた

⑥ 賽銭(さいせん) 入れ お金もあつたが、殆どが米をお供えとして出したので、「大ぞうけ」「大きなざるのこと」が用意された。

⑦ 白紙の御幣 これを受け持った人は、独りで御田頭幸の通らない田道へ出て、御幣と棒で田を清めて歩き、次の御旅所で御田頭幸と合流することになっていた。



御旅所は、下馬屋の山原丈吉氏宅と、上馬屋の河内社跡地の二カ所であった。御旅所の準備は、当家や世話人の手で午前中に整えられた。

ピカアポ情報



平成元年度の、県内各地公民館が参加しての、公民館コンクールで、公民館が「さくらぎ」が2度目の【奨励賞】(平成2年1月26日)を申請し、地区の皆様に感謝の意を述べさせていただきます。

報告 & 御礼

【桜木連合子供会】 昨年12月に、子供たちによる「あき缶募金」を行いましたがおかげさまで¥26,083.円集まりました。尚、徳山市全子供会の合計は¥1,005,010円でした。紙上を借り、ご報告と御礼を申し上げます。(桜木地区 会長 上野正春)

【公民館だより1月号に掲載すべきところ、紙面の都合上遅くなり、お詫び致します(娘)】

【桜木地区】

ふるさと創生だより

◎ 山の整備 1月11日から雨天降雪の日を除き連日のようにチェーンを担いで山に入り、登山道の整備に追われています。2月に入り、5日から8日にかけて老人クラブの大挙出動により、道の整備は概ね終わりに近く、これから、水源確定のための第2回目水脈調査をし、配管工事の段取りにかかります。

◎ 花(桜美寿)植栽 1月25日の自治会長集会で、自治会関係1200本・小学校・幼稚園・保育園等5000本・合計17000本の花の苗を3月下旬中に地区いっばいに植えることに決まりました。各世帯には5本を配ります。3月には各自治会ごとに詳細連絡を致します。

平成2年 第2報